

在宅医療・在宅介護に関する住民アンケート報告

■調査主体：一般社団法人 水俣市芦北郡医師会

水俣芦北圏域在宅医療・介護連携支援センター（令和6年10月実施）

■アンケート配布件数 1000件（無作為）

《配布内訳数》【水俣市】530件 【芦北町】370件 【津奈木町】100件】

■アンケート回収件数 490件（回収率49.0%）注：うち住まいの地域無回答5件

《回収内訳数》490件－5件＝485件

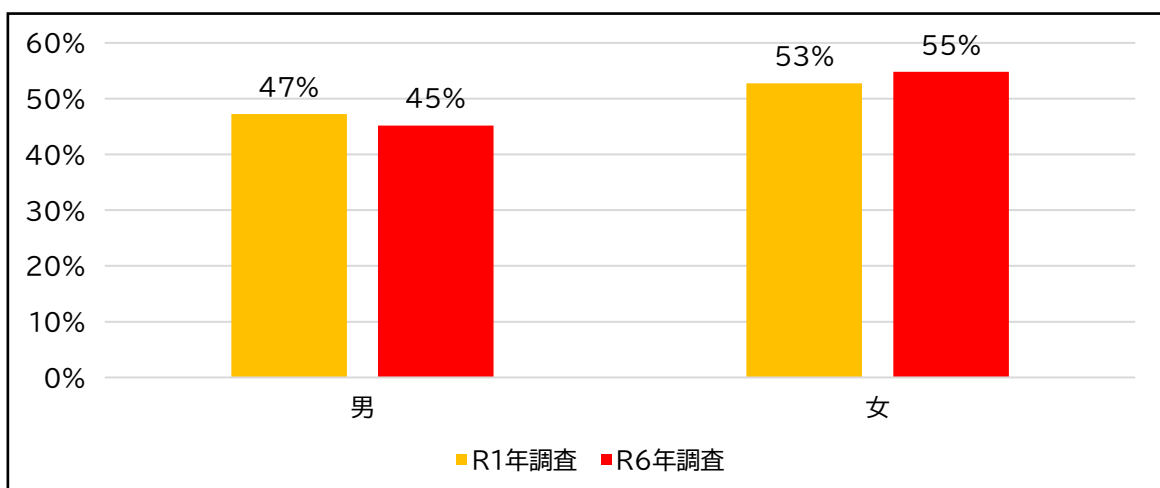
【水俣市】 253件（52.2%）

【芦北町】 180件（37.1%）

【津奈木町】 52件（10.7%）

問1 あなたの性別をお答えください。

		男	女	合計
R1調査 (2019)	件	206	230	436
	%	47%	53%	100%
R6調査 (2024)	件	221	268	489
	%	45%	55%	100%
差	件	15	38	53
	%	-2%	2%	0%

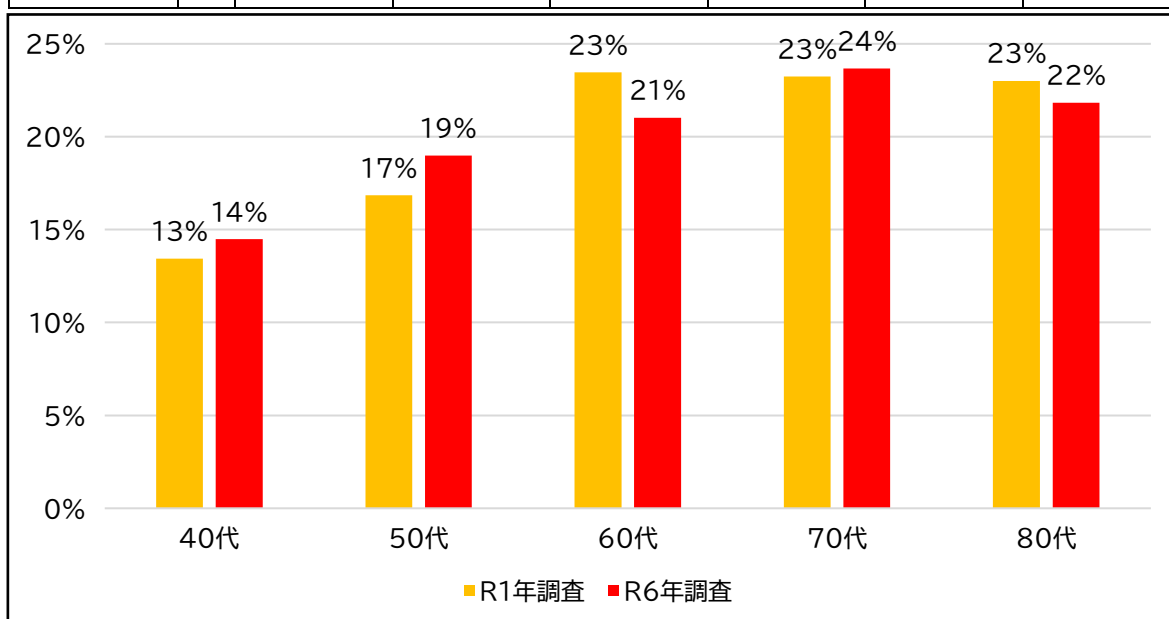


（コメント）

R1と比較して各項目とも大きな変化はありませんが、男性が2%減少して45%、女性が2%増加して55%でした。

問2 あなたの年齢をお答えください。

		40代	50代	60代	70代	80代	合計
R1調査 (2019)	件	59	74	103	102	101	439
	%	13%	17%	23%	23%	23%	100%
R6調査 (2024)	件	71	93	103	116	107	490
	%	14%	19%	21%	24%	22%	100%
差	件	12	19	0	14	6	51
	%	1%	2%	-2%	0%	-1%	0%

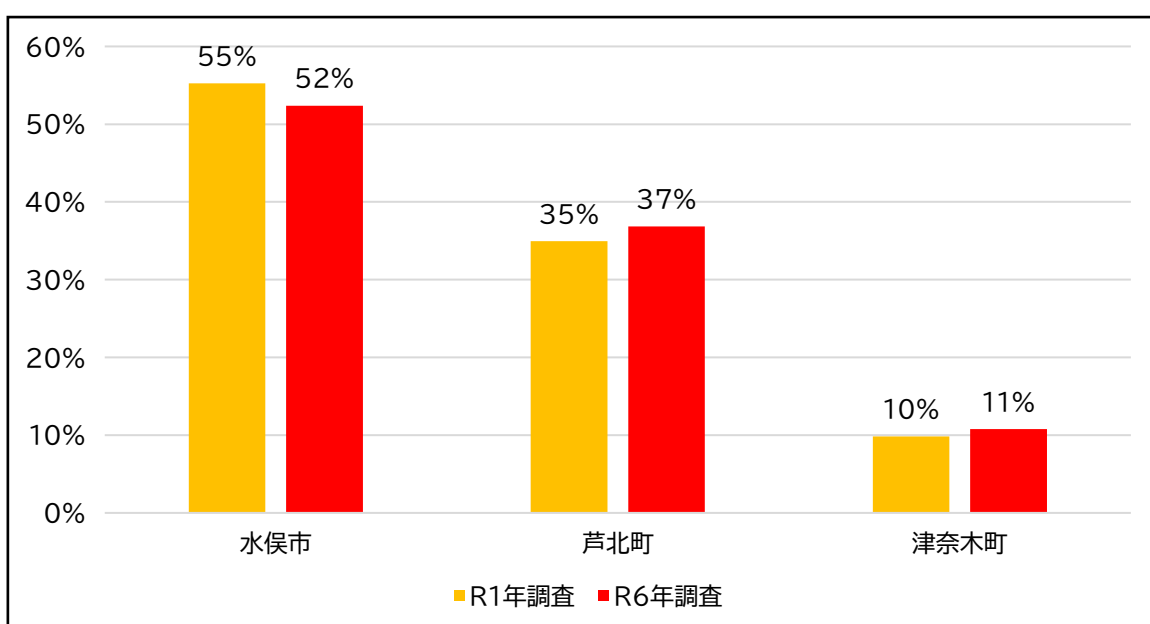


(コメント)

R1と比較して各項目とも大きな変化はありませんが、60歳代と80歳代が減少しており、70歳代40歳代はほぼ同率で50歳代の増加がみられました。

問3 あなたのお住まいの地域をお答えください。

		水俣市	芦北町	津奈木町	合計
R1調査 (2019)	件	242	153	43	438
	%	55%	35%	10%	100%
R6調査 (2024)	件	253	180	52	485
	%	52%	37%	11%	100%
差	件	11	25	9	45
	%	-3%	2%	1%	0%

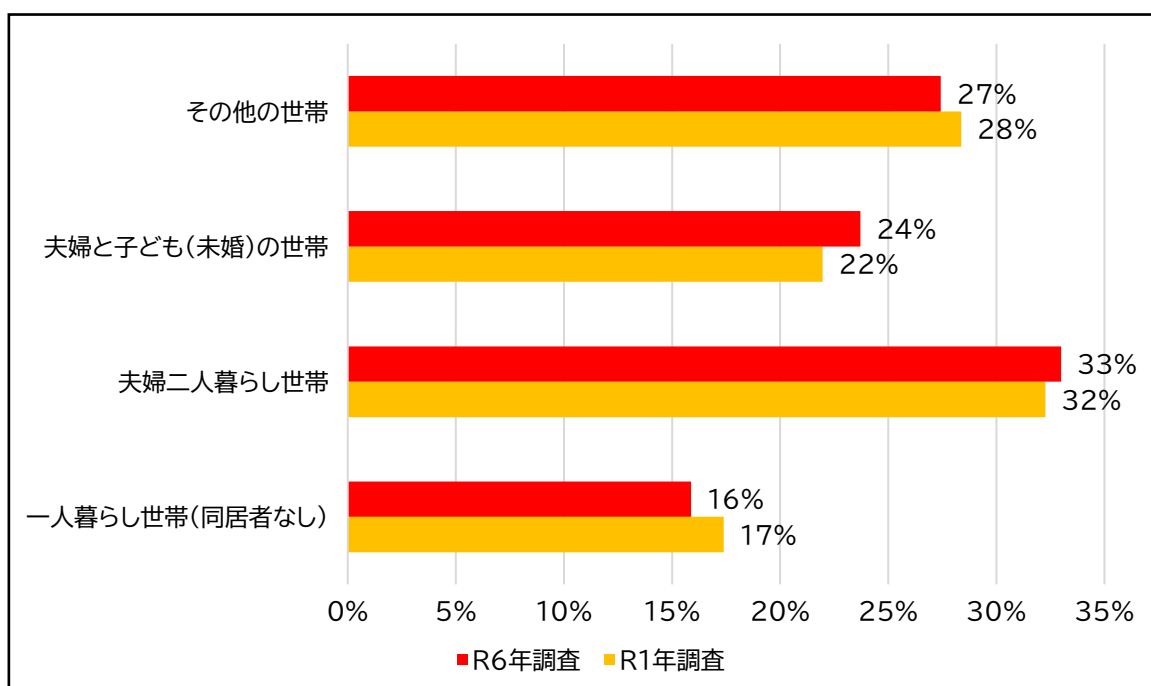


(コメント)

R1と比較して各項目とも大きな変化はありませんが、芦北町、津奈木町が微増し、水俣市は少し減少していました。

問4 あなたの家族構成をお答えください。

		一人暮らし世帯 (同居者なし)	夫婦二人暮らし世帯	夫婦と子ども(未婚)の世帯	その他の世帯	合計
R1調査 (2019)	件	76	141	96	124	437
	%	17%	32%	22%	28%	100%
R6調査 (2024)	件	77	160	115	133	485
	%	27%	24%	33%	16%	100%
差	件	1	19	19	9	48
	%	-2%	1%	2%	-1%	0%

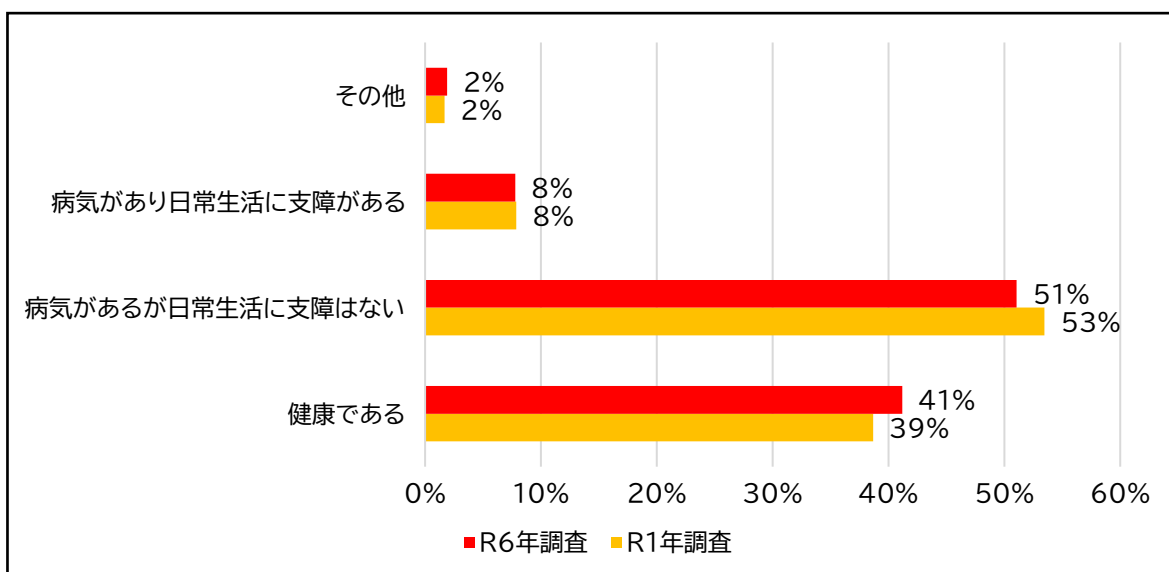


(コメント)

R1と比較して各項目とも大きな変化はなく、「夫婦二人暮らし世帯」がR1含めて最も多い形でした。

問5 あなたの現在の健康状態はいかがですか。

		健康である	病気があるが日常生活に支障はない	病気があり日常生活に支障がある	その他	合計
R1調査 (2019)	件	162	224	33	7	419
	%	38%	53%	8%	2%	100%
R6調査 (2024)	件	196	243	37	9	476
	%	41%	51%	8%	2%	100%
差	件	34	19	4	2	57
	%	3%	-2%	0%	0%	0%

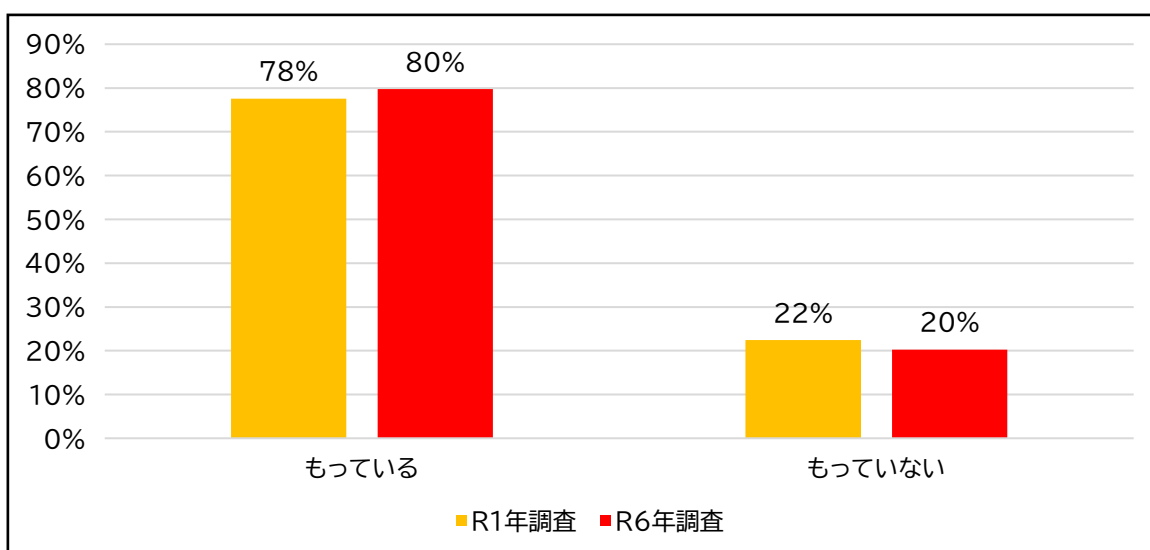


(コメント)

R1と比較して各項目とも大きな変化はありませんが、「健康である」が微増し、「病気があるが日常生活に支障はない」が少し減少しています。

問6 あなたは「かかりつけ医」をもちっていますか。

		もっている	もっていない	合計
R1調査 (2019)	件	328	95	423
	%	78%	22%	100%
R6調査 (2024)	件	386	98	484
	%	80%	20%	100%
差	件	58	3	61
	%	2%	-2%	0%

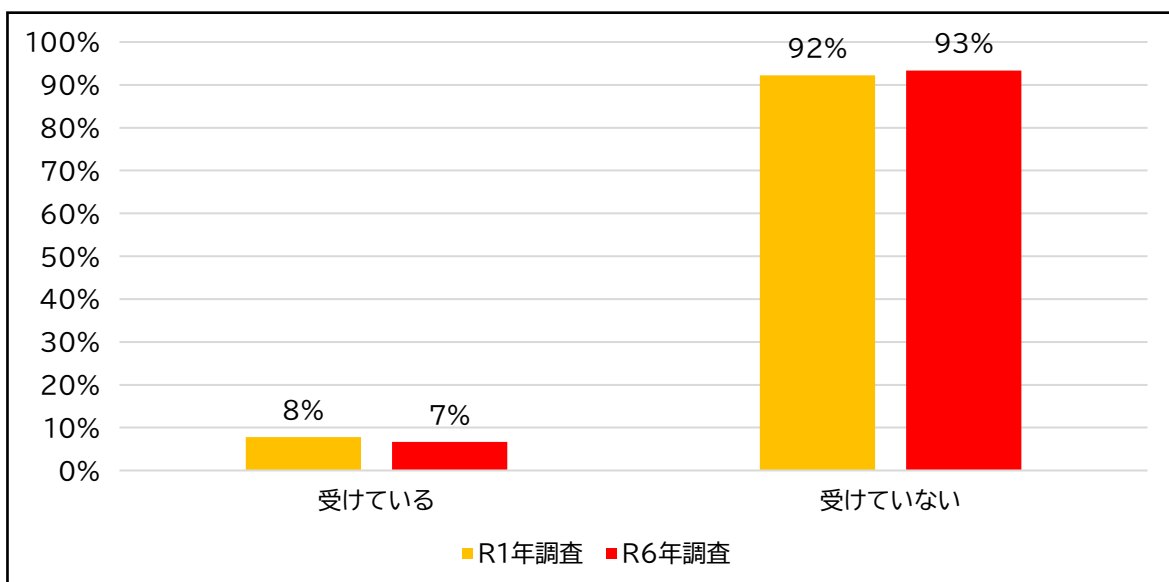


(コメント)

R1と比較して各項目とも大きな変化はありませんが、「かかりつけ医をもちている」が微増、「もっていない」が少なくなってます。

問7 あなたは介護認定を受けていますか。

		受けている	受けていない	合計
R1調査 (2019)	件	33	390	423
	%	8%	92%	100%
R6調査 (2024)	件	32	450	482
	%	7%	93%	100%
差	件	-1	60	59
	%	-1%	1%	0%

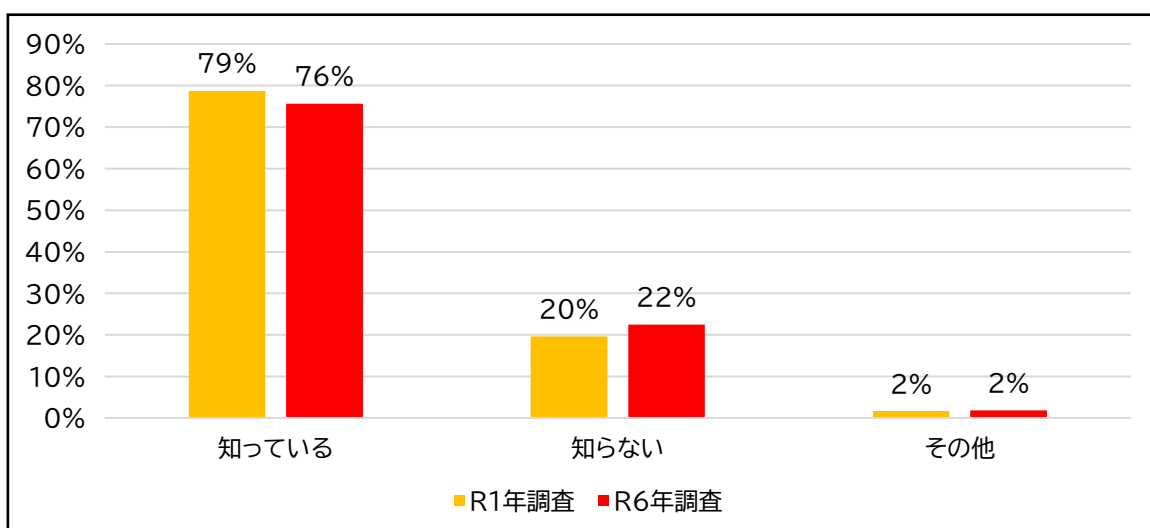


(コメント)

R1と比較して各項目とも大きな変化はありませんでした。

問8 在宅医療・在宅介護を知っていますか。

		知っている	知らない	その他	合計
R1調査 (2019)	件	333	83	7	423
	%	79%	20%	2%	100%
R6調査 (2024)	件	367	109	9	485
	%	76%	22%	2%	100%
差	件	34	26	2	62
	%	-3%	3%	0%	0%

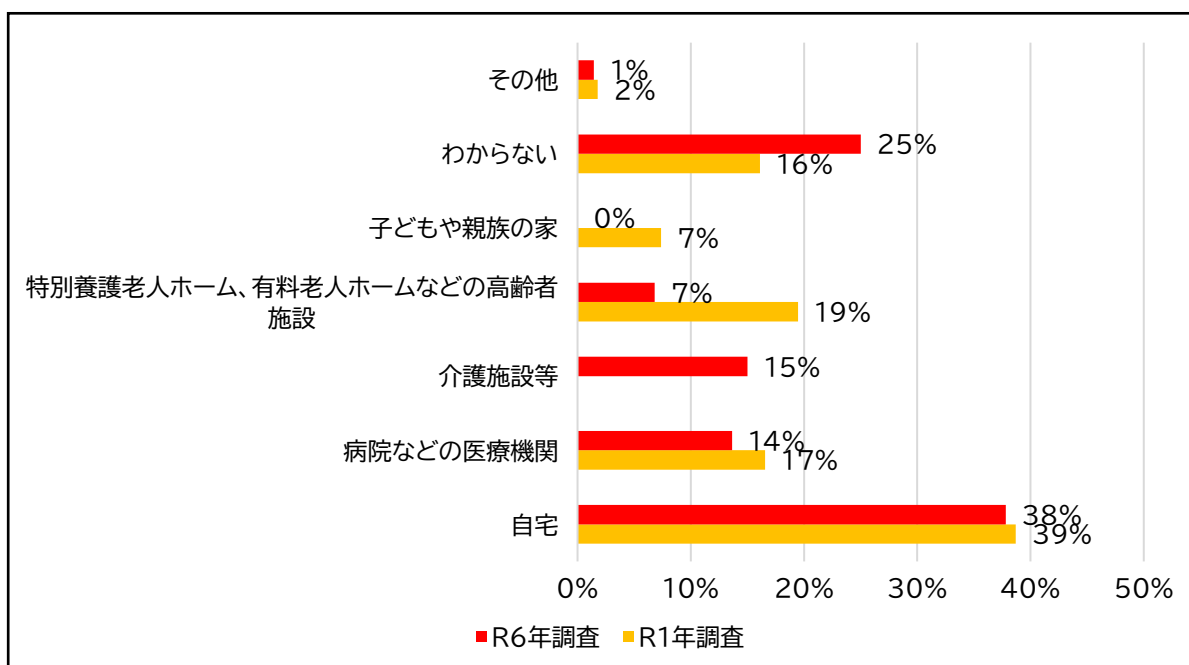


(コメント)

R1と比較して各項目とも大きな変化はありませんが、「知っている」が若干減少し、「知らない」が若干増えていたことは意外であり、さらに広報・周知の必要性があると思われます。

問9 あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けながら日常生活を送りたいですか。

		自宅	病院などの医療機関	介護施設等	設 老人ホームなどの高齢者施	子どもや親族の家	わからない	その他	合計
R1調査 (2019)	件	173	74		87	33	72	8	447
	%	39%	17%		19%	7%	16%	2%	100%
R6調査 (2024)	件	183	66	74	33		121	7	484
	%	38%	14%	15%	7%		25%	1%	100%
差	件	10	-8				49	-1	50
	%	-1%	-3%				9%	0%	0%

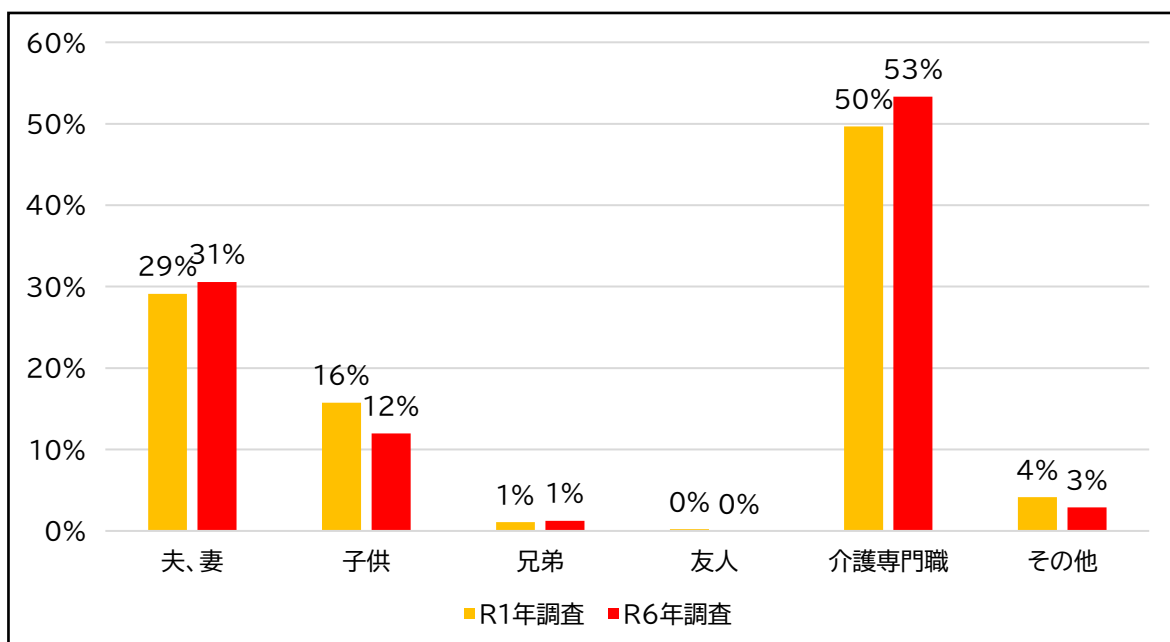


(コメント)

R6の調査では、設問項目の変更があったため、R1と比較できないところもありましたが、R1と同様に「自宅」が最も多い結果となりました。

問10 誰に介護してもらいたいですか。

		夫、妻	子供	兄弟	友人	介護専門職	その他	合計
R1調査 (2019)	件	133	72	5	1	227	19	457
	%	29%	16%	1%	0%	50%	4%	100%
R6調査 (2024)	件	148	58	6	0	258	14	484
	%	31%	12%	1%	0%	53%	3%	100%
差	件	15	-14	1	-1	31	-5	27
	%	1%	-4%	0%	0%	4%	-1%	0%

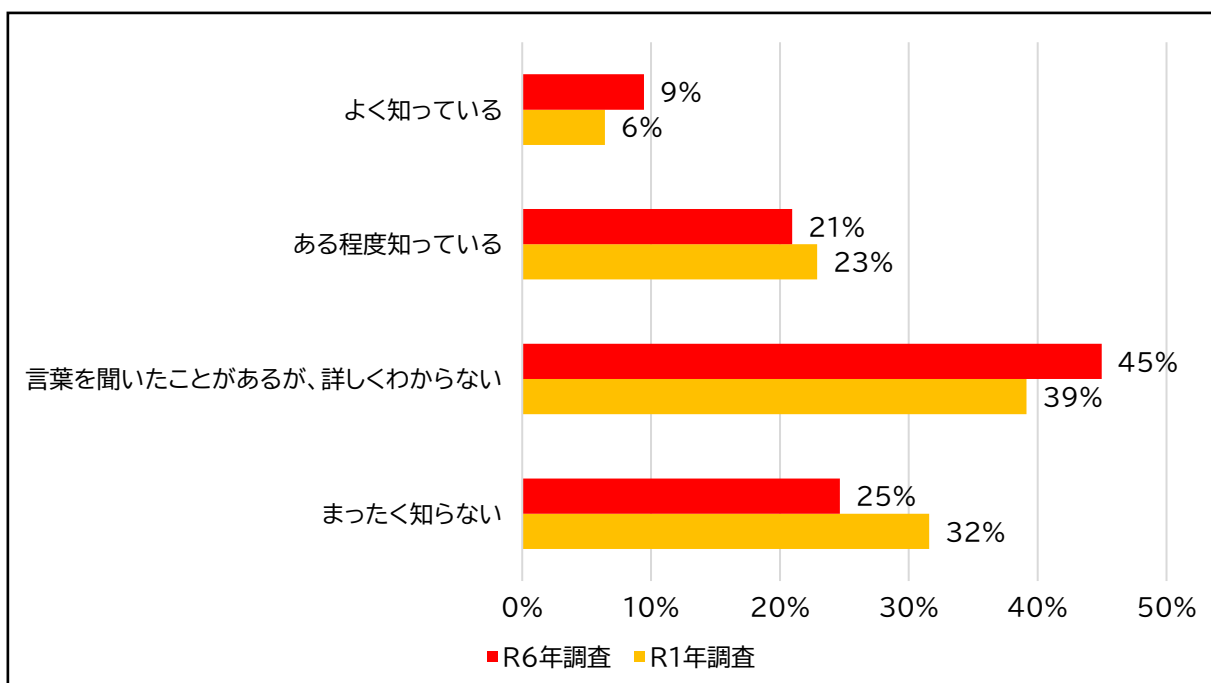


(コメント)

R1と比較して各項目とも大きな変化はありませんが、「介護専門職」と「夫・妻」が微増し、「子供」は減少していました。

問11 「地域包括ケアシステム」を知っていますか。

		まったく知らない	言葉を聞いたことがあるが、詳しくわからない	ある程度知っている	よく知っている	合計
R1調査 (2019)	件	138	171	100	28	437
	%	32%	39%	23%	6%	100%
R6調査 (2024)	件	120	219	102	46	487
	%	25%	45%	21%	9%	100%
差	件	-18	48	2	18	50
	%	-7%	6%	-2%	3%	0%

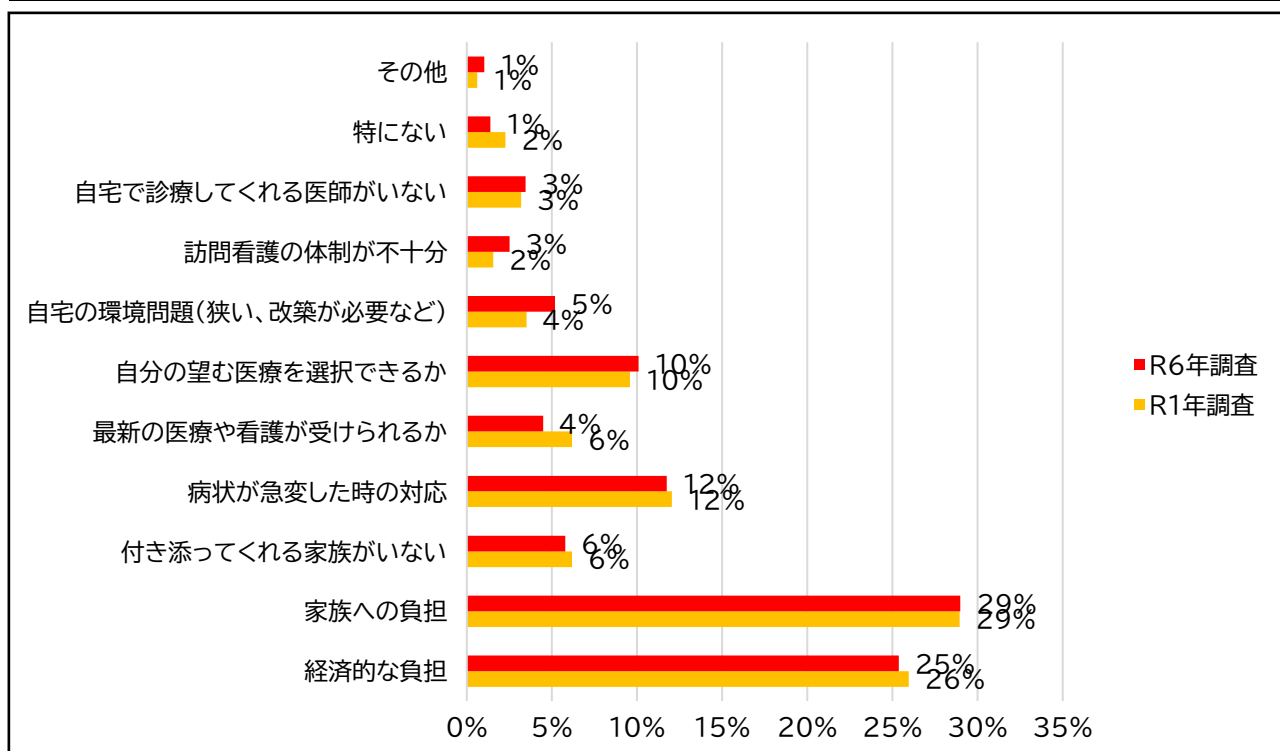


(コメント)

R1と比較して各項目とも大きな変化はありませんが、「全く知らない」が最も多く減少し、「言葉を聞いたことがあるが詳しくわからない」が増加していたことは、住民の認識が広がっていることを示しているのではないかと思います。

問12 あなたが「在宅医療」や「在宅介護」を受けるとしたら気になることは何ですか

		経済的な負担	家族への負担	付き添ってくれる家族がいない	病状が急変した時の対応	最新の医療や看護が受けられるか	自分の望む医療を選択できるか	自宅の環境問題(狭い、改築が必要など)	訪問看護の体制が不十分	自宅で診療してくれる医師がいない	特にない	その他	合計
R1 調査	件	252	281	60	117	60	93	34	15	31	22	6	971
	%	26%	29%	6%	12%	6%	10%	4%	2%	3%	2%	1%	100%
R6 調査	件	294	336	67	136	52	117	60	29	40	16	12	1159
	%	25%	29%	6%	12%	4%	10%	5%	3%	3%	1%	1%	100%
差	件	42	55	7	19	-8	24	26	14	9	-6	6	188
	%	-1%	0%	0%	0%	-2%	1	2%	1%	0%	-1%	0%	0%

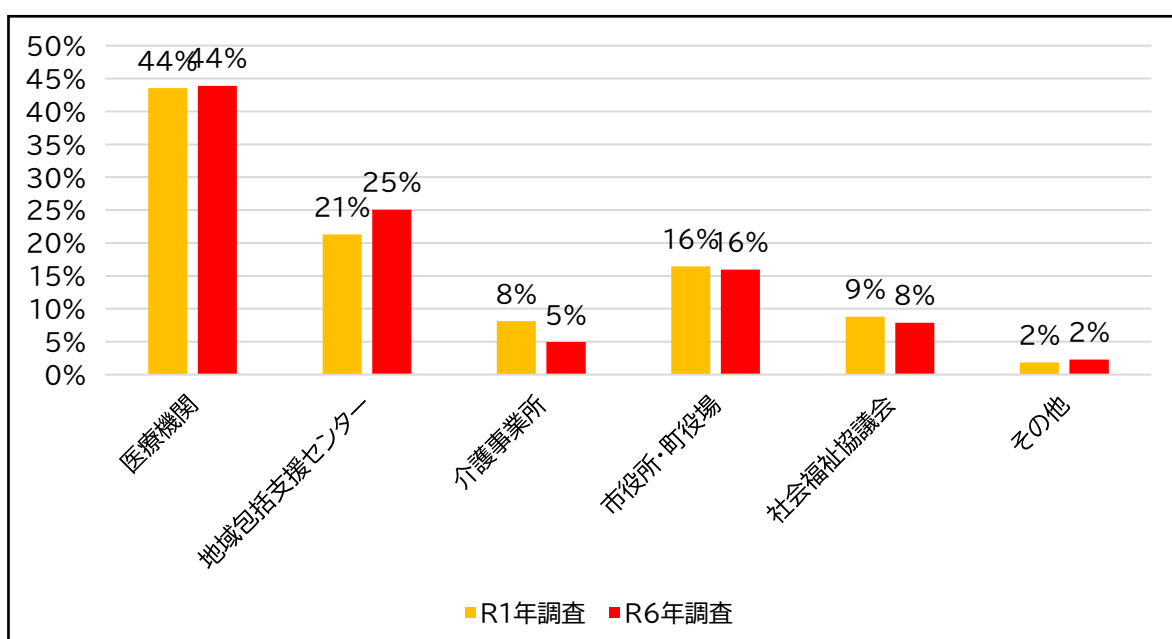


(コメント)

R1と比較して各項目とも大きな変化はありませんが、R1と同様「経済的な負担」「家族への負担」を気にする回答が最も多く、在宅医療・介護をためらう傾向にあることは変わっていないことがわかります。

問13 あなたやあなたの家族に「在宅医療」や「在宅介護」が必要となった場合、まずどこに相談しますか。

		医療機関	地域包括支援センター	介護事業所	市役所・町役場	社会福祉協議会	その他	合計
R1調査 (2019)	件	188	92	35	71	38	8	432
	%	44%	21%	8%	16%	9%	2%	100%
R6調査 (2024)	件	212	121	24	77	38	11	483
	%	44%	25%	5%	16%	8%	2%	100%
差	件	24	29	-11	6	0	3	51
	%	0%	4%	-3%	0%	-1%	0%	100%

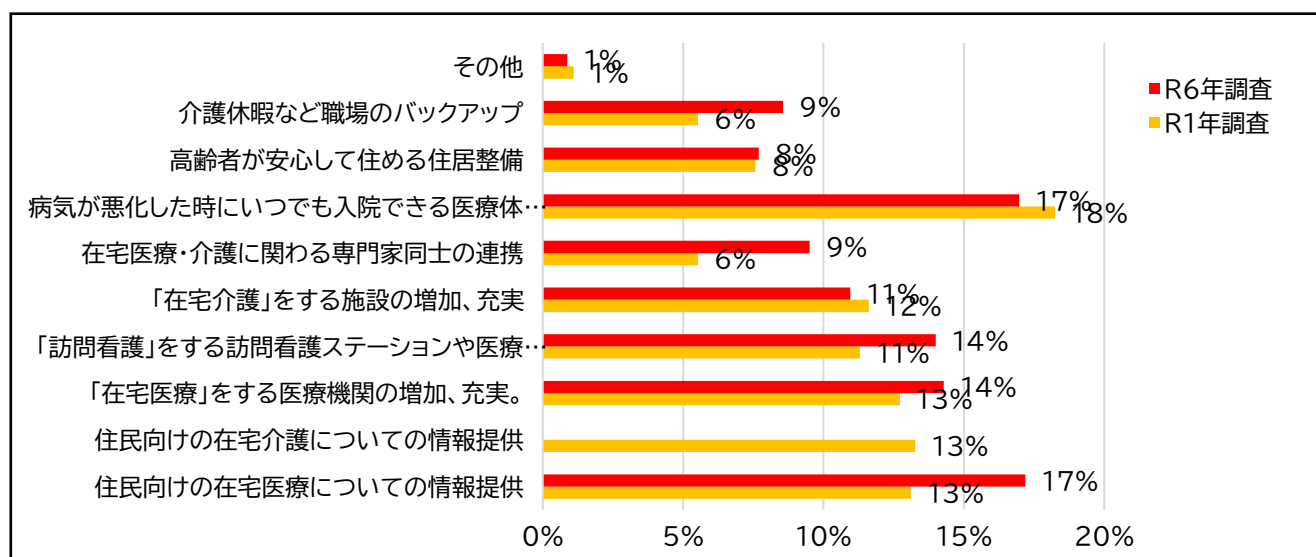


(コメント)

R1と比較して各項目とも大きな変化はありませんが、R1と同様に「医療機関」が最も多く、「地域包括支援センター」がR1より増加しており、地域包括支援センターの役割が地域に浸透していることが伺えます。

問14 「在宅医療」や「在宅介護」が進むためにはどのようなことが必要と思いますか

		住民への在宅医療についての情報提供	住民への在宅介護についての情報提供	「在宅医療」を行う医療機関の増加	「訪問看護」を行う訪問看護STや医療機関の増加	「在宅介護」を行う施設の増加	在宅医療・介護に関わる専門家同士の連携	病気が悪化した時にいつでも入院できる医療体制の整備	高齢者が安心して住める住居整備	介護休暇など職場のバックアップ	その他	合計
R1調査 (2019)	件	166	168	161	143	147	70	231	96	70	14	1266
	%	13%	13%	13%	11%	12%	6%	8%	18%	6%	1%	100%
R6調査 (2024)	件	237		197	193	151	131	234	106	118	12	1379
	%	17%		14%	14%	11%	9%	17%	8%	9%	1%	100%
差	件	71		36	50	4	61	3	10	48	-2	113
	%	4%		2%	3%	-1%	4%	-1%	0%	3%	0%	0%

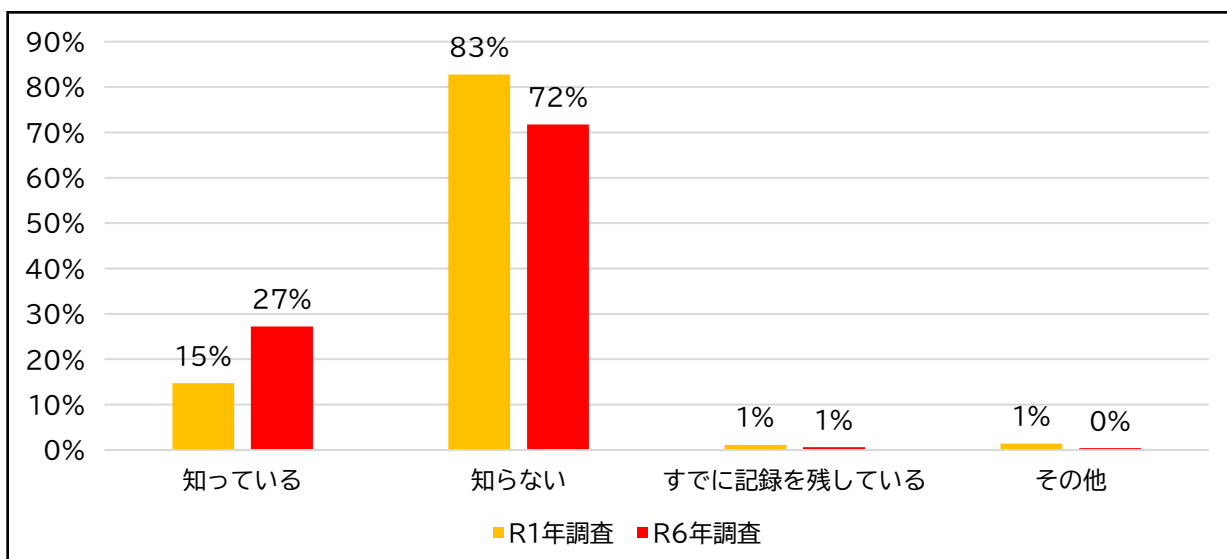


(コメント)

R6の調査では「在宅医療の情報提供」と「在宅介護の情報提供」の設問を一本にした関係で「病気が悪化した時にいつでも入院できる医療体制の整備」と同数の最も多い回答となりました。また「介護休暇などの職場のバックアップ」「在宅医療・介護にかかわる専門家同士の連携」など、医療・介護現場従事者に関する回答が増加していました。

問15 今、厚生労働省は「人生会議」や「アドバンス・ケア・プランニング」、「リビングウィル」という表現で人生の最終段階における医療や生活について記録に残すことを推進していますが、このようなことを知っていますか。

		知っている	知らない	すでに記録を残している	その他	合計
R1調査 (2019)	件	64	360	5	6	435
	%	15%	83%	1%	1%	100%
R6調査 (2024)	件	132	348	3	2	485
	%	27%	72%	1%	0%	100%
差	件	68	-12	-2	-4	50
	%	13%	-11%	-1%	-1%	0%

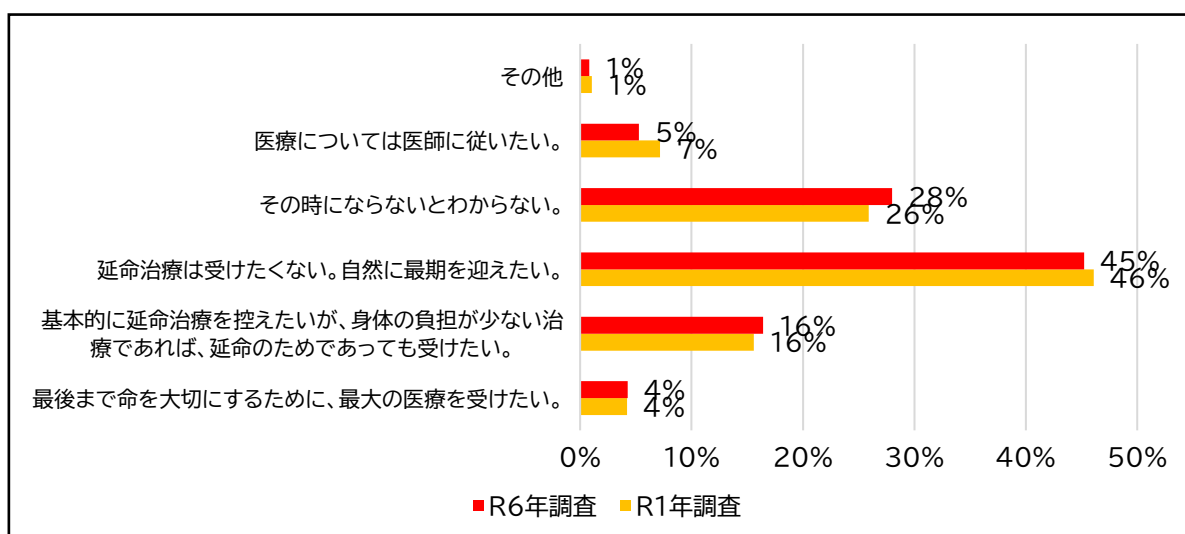


(コメント)

R1と比較してR6では「知っている」が増加し、「知らない」が減少していることから、「人生会議」や「ACP」について地域住民への浸透が考えられました。

問16 人生の最後の場面(治る見込みなく死期迫った時)でどのような医療を受けたいですか。

		最後まで命を大切にす るために、最大の医療 を受けたい。	基本的に延命治療を 控えたいが、身体 の負担が少ない治療 であれば、延命のため であっても受けたい。	延命治療は受けたく ない。自然に最期を 迎えたい。	その時にならないとわ からない。	医療については医師に 従いたい。	その他	合計
R1調査 (2019)	件	20	74	219	123	34	5	475
	%	4%	16%	46%	26%	7%	1%	100%
R6調査 (2024)	件	21	81	223	138	26	4	493
	%	4%	16%	45%	28%	5%	1%	100%
差	件	1	7	4	15	-8	-1	18
	%	0%	1%	-1%	2%	-2%	0%	0%

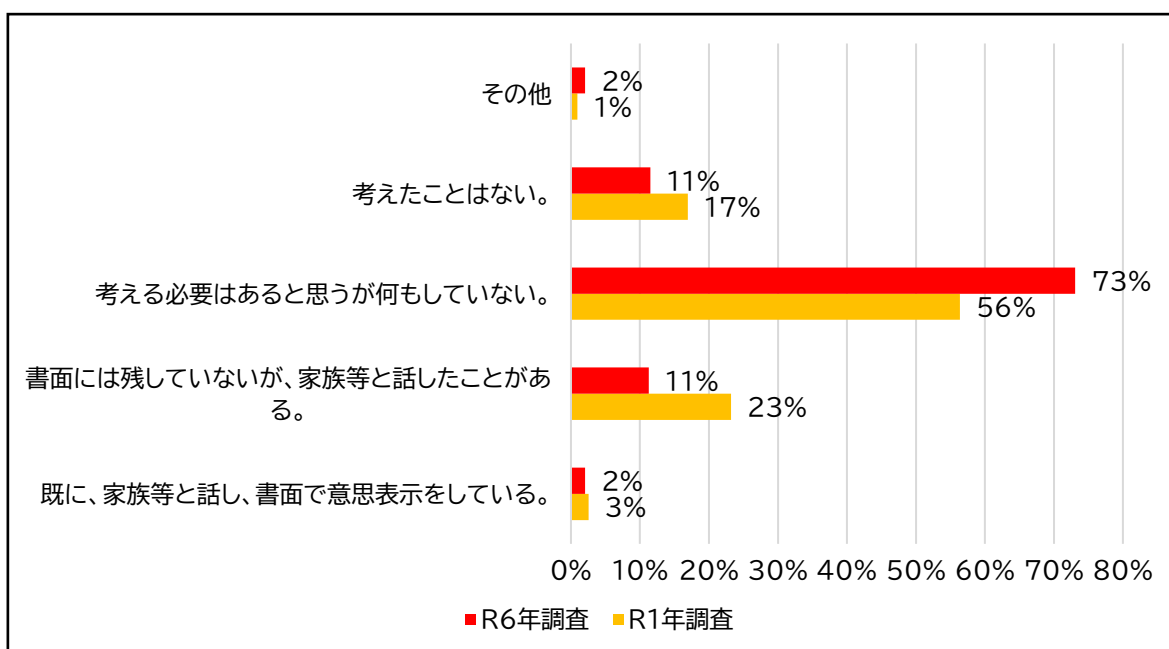


(コメント)

R1と比較して各項目とも大きな変化はなく、R6についても「延命治療は受けたくない。自然に最期を迎えたい」が最も多い回答となりました。

問17 人生の最後の場面に受けたい医療について、日ごろから考えていますか。

		既に、家族等と話し、書面で意思表示をしている。	書面には残していないが、家族等と話したことがある。	考える必要はあると思うが何もしていない。	考えたことはない。	その他	合計
R1調査 (2019)	件	11	100	243	73	4	431
	%	3%	23%	56%	17%	1%	100%
R6調査 (2024)	件	10	55	356	56	10	487
	%	2%	11%	73%	11%	2%	100%
差	件	-1	-45	113	-17	6	56
	%	0%	-12%	17%	-5%	1%	0%

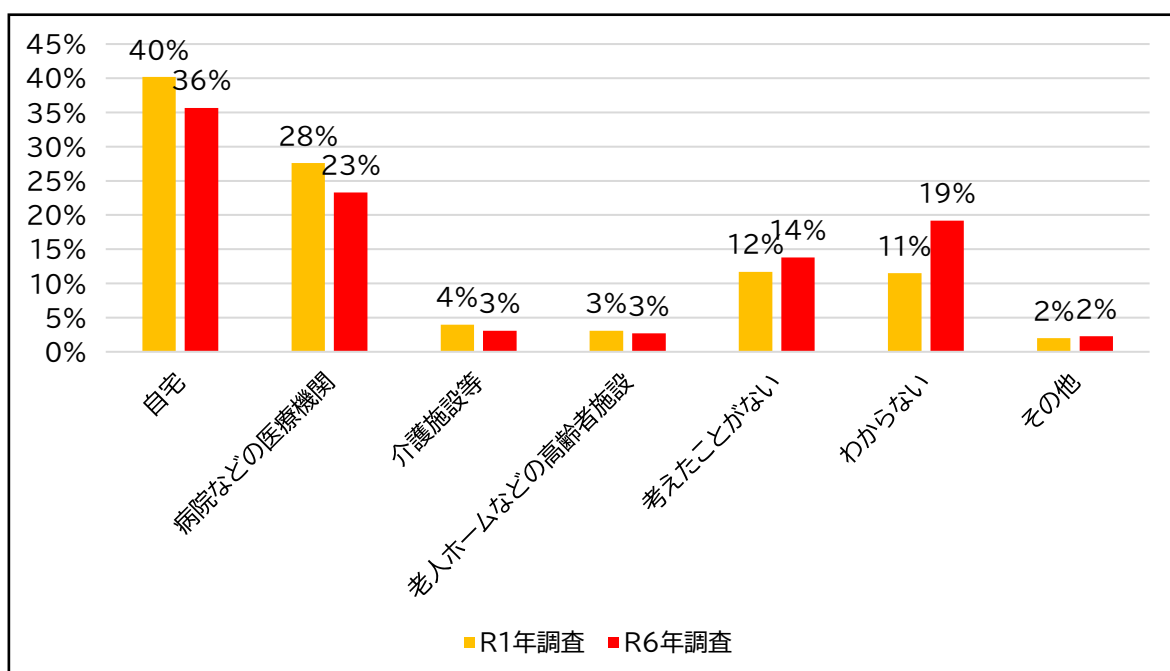


(コメント)

R1と比較して、R1でも「考える必要はあると思うが何もしていない」が最も多かったが、R6ではさらに増加していた。また、「家族と話したことがある」は一気に減少していることがわかりました。

問18 人生の最期(看取り)をどこで迎えたいと思いますか。

		自宅	関 病院などの医療機 関	介護施設等	老人ホームなどの 高齢者施設	考えたことがない	わからない	その他	合計
R1調査 (2019)	件	182	125	18	14	53	52	9	453
	%	40%	28%	4%	3%	12%	11%	2%	100%
R6調査 (2024)	件	173	113	15	13	67	93	11	485
	%	36%	23%	3%	3%	14%	19%	2%	100%
差	件	-9	-12	-3	-1	14	41	2	32
	%	-5%	-4%	-1%	0%	2%	8%	0%	0%



(コメント)

R1と比較して各項目とも傾向として大きな変化はありませんが、R1と同様に「自宅」、次いで「医療機関」が最も多い回答でした。

また、「わからない」「考えたことがない」が今回増加したのは、回答した年齢層が40歳代、50歳代が多かったことも影響しているのではないかと考えられます。